

事業番号	08 01 13	事業改善シート(28年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	安全登山普及推進事業費			担当課	部局	観光部	
					課・局・室	山岳高原観光課	
総合5か年計画	プロジェクト			E-mail	mt-tourism@pref.nagano.lg.jp		
	施策の総合的展開	1-2 強みを活かした観光の振興 1 選ばれる観光地づくり		実施期間	H27 ~		
人口定着・確かな暮らし実現総合戦略	信州創生の基本方針	3-3 活力と循環の信州経済の創出					
	施策展開	3-(1) 経済構造の転換 ア 県内産業の競争力強化 (カ) 観光の振興					

1 事業の概要

目指す姿	○長野県登山安全条例を制定することにより、日本を代表する山岳県にふさわしい登山の安全対策を総合的に推進する。 ○登山者の長野県への来訪及び滞在を促進する。					
現状(予算編成時)	○平成26年の長野県内の登山者数は約71万人 ○平成26年の遭難件数は272件、遭難者数は301人 平成25年より減少したが、過去2番目の多さである。 ○県、警察、市町村、山小屋関係者等が協力し、登山者に対し安全登山のための注意喚起を実施 ○県、市町村、観光協会等が協力し、山の魅力の情報発信を実施					
県が関与する理由	県でなければ実施不可(法令等義務)	【左記の説明、根拠法令等】 ○長野県登山安全条例(平成27年 条例第52号) ○登山の安全対策は、市町村や山岳遭難防止対策協会等の山岳関係者等と一体となった取り組みが不可欠である。				
成果目標・事業内容	① 成果目標(H28) ○長野県登山安全条例に基づく「登山を安全に楽しむためのガイドライン」を策定し、登山者に山のルール・マナーを周知する。 ○登山計画書の提出義務化に伴い、登山計画書を提出しやすくする環境を整備する。 ○長野県登山安全条例の周知、安全登山のための注意喚起、信州の山の魅力の情報発信の広報を実施する。					
	② 事業内容 (単位:千円)					
	項目	実施方法	H28事業実績	H28(当初)	H28(決算)	H29(当初)
	ガイドラインの策定、周知	直接	・有識者による検討会を開催し、「登山を安全に楽しむためのガイドライン」を策定。 ・ガイドライン周知のためのパンフレットを作成。	2,282	2,282	400
	登山口看板設置	直接	・登山口に指定登山道を示す看板を設置。	37,806	25,541	0
	登山ポスト回収事務費等補助金	補助・直接	・登山ポストからの回収費用や登山ポストの修繕等の費用に対し、補助金を交付。	7,665	6,289	5,100
	登山計画書の提出環境の整備	直接	・ペーパーレスに対応したFAX受信設備を導入。 ・コンビニのマルチコピー機で登山計画書の様式を出力し、FAXで送信できるシステムを整備。	1,063	1,063	455
	条例や信州の山の魅力等の広報	直接	・条例の周知、安全な登山の啓発、及び信州の山の魅力を発信するための広報を実施。 ・外国語のホームページによる情報提供を実施。	5,915	5,915	2,631
	合計			54,731	41,090	8,586

事業コスト	区分(単位:千円)	27年度	28年度	29年度	成果目標の達成状況						
	前年度繰越				項目	H26末	H27末	H28		H29目標	
	当初予算		54,731	8,586				目標	成果		達成状況
	補正予算	1,284	-12,265		登山計画書提出率	39.9%	40%	60%	69.30%	達成	80%
	合計(A)	1,284	42,466	8,586	遭難件数	272件	273件	260件	272件	未達成	260件
	一般財源	1,284	42,466	8,586	遭難者数	301人	300人	280人	303人	未達成	280人
	県債										
	国庫支出金										
	その他	0	0	0							
	決算額(B)	1,284	41,090								
概算人件費	職員数(人)	1.00	1.00	1.00							
	概算人件費(C)	8,276	7,914	7,914							
	概算事業費(B(A)+C)	9,560	49,004	16,500							

目標に対する成果の状況	登山安全条例制定の効果もあり、登山計画書の提出率は目標を上回った。 中高年登山者による遭難数の高止まり、バックカントリースキー遭難の増加のため、遭難件数及び遭難者数については目標を達成できなかった。
-------------	--

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施 登山安全条例に基づき、総合的な登山の安全対策を実施していく。また、信州の山の魅力を発信していく。
--------------------	---